

1

【さあ主にささげよう】

1.

F B♭ F B♭ F C7 F
 さあ主に捧げよう 感謝の 歌を
 F B♭ F B♭ F C7 F
 さあ主に捧げよう 感謝の 歌を
 C7 F C7 F
 ハレルヤ ハレルヤ 力の限り
 C7 F Gm C7 F
 ハレルヤ ハレルヤ 主にささげよう

2.

F B♭ F B♭ F C7 F
 さあ主の御前で 喜び踊ろう
 F B♭ F B♭ F C7 F
 さあ主の御前で 喜び 踊ろう
 C7 F C7 F
 ハレルヤ ハレルヤ 力の限り
 C7 F Gm C7 F
 ハレルヤ ハレルヤ 喜び踊ろう

【きよい手をあげ】

F Gm
 きよい手をあげ 賛美に満たされ
 Gm C7 F
 感謝の心で 主をたたえよう
 F F Gm
 主をたたえよう 主をたたえよう
 Gm C7 F
 感謝の心で 主をたたえよう

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り

イエス様のご愛に心をとめ、感謝と賛美の祈りをします

2. 悔い改めと主を慕い求める祈り

心にある罪を告白し、赦しを求めます。
また、主ご自身を求めて祈ります

3. 個人的な願いの祈り

主の御名によって大胆に何でも祈ります

4. とりなしの祈り

- (1) 新型コロナウイルスの収束と復興のため
(瀬戸の HP の「いのりの窓口」を参照に)
- (2) 家族・親族・友人知人・ご近所の方のために
- (3) 病いや困難と闘っている兄弟姉妹のため
- (4) 瀬戸カルバリーチャペルの働きのため
 - ・礼拝・祈り会を早く教会でもてるように
 - ・地域の方々に主の平安が届けられますように
 - ・牧師家族のため・ジョイキッズ・次世代のため
- (5) 日本のリバイバルと大和カルバリーチャペルのため

独りになれる所で、イエスは、自分の思いではなく、神の御心に従う決断をする力を得ました。自分の言葉ではなく、神の言葉を語る勇気を、自分の業ではなく、神の業をする力を見出したのです。

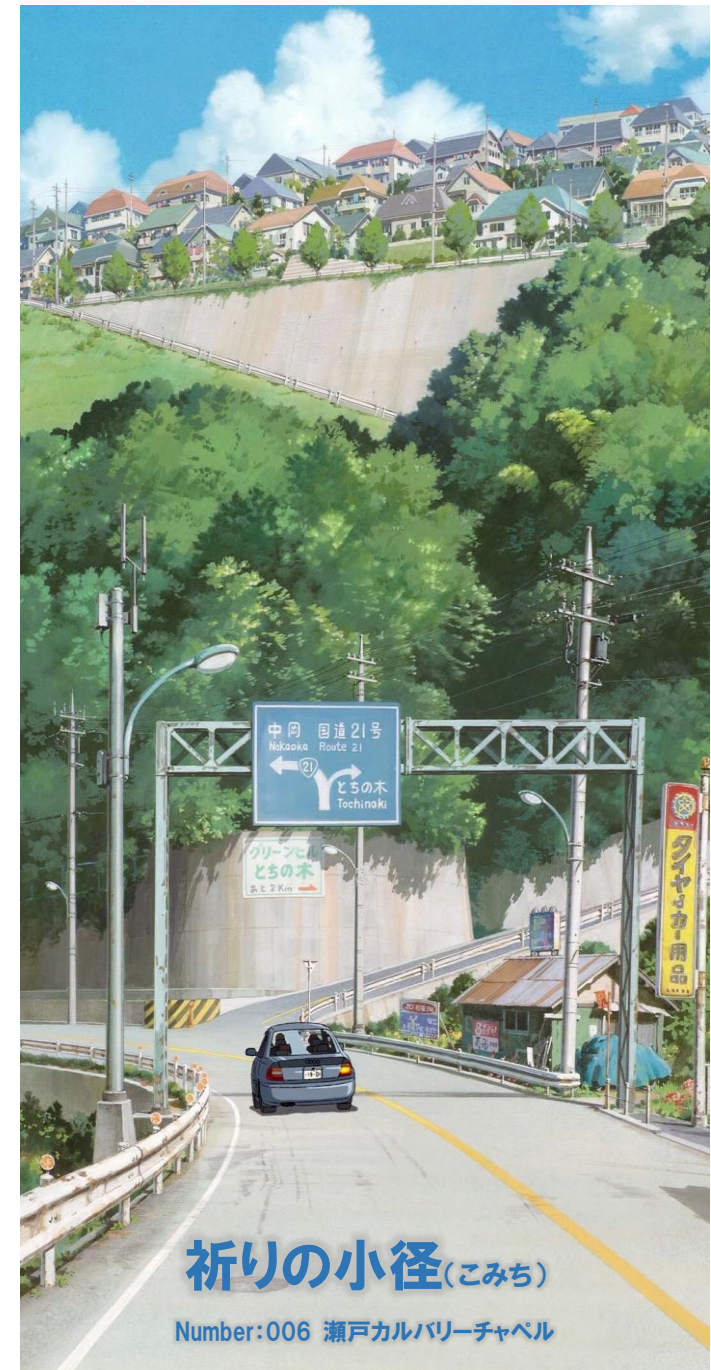
ヘンリ・ナウエン

瀬戸カルバリーチャペル

×Seto LIFE ART Studio

愛知県瀬戸市みずの坂5-64 0561-48-8899

牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と詩人・八木重吉の「祈」にある「祈りの路」から名付けられました。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

マルコによる福音書1章34・35節

1:34 イエスは、さまざまの病をわずらっている多くの人々をいやし、また多くの悪霊を追い出された。また、悪霊どもに、物言うことをお許しにならなかった。彼らがイエスを知っていたからである。

1:35 朝はやく、夜の明けるよほど前に、イエスは起きて寂しい所へ出て行き、そこで祈っておられた。

詩篇42篇11節

わが魂よ、何ゆえうなだれるのか。何ゆえわたしのうちに思いみだれるのか。神を待ち望め。わたしはなおわが助け、わが神なる主をほめたたえるであろう。

しかし、私のたましいよ、気落ちするな。動転するな。神に期待せよ。神がすばらしいことをしてください。私はきっと賛嘆の声をあげるのだから。このお方こそ、私の命綱、私の神
(リビングバイブル)

コリント人への第一の手紙13章7節

そして(愛は)、すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える。

3

黙想とところの投影の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

Q. イエス様は寂しいところで、祈っておられました。あなたはどのようにお祈りしていますか。

どのようにお祈りしたいですか。

Q. 詩篇42のリビングバイブルをお読みください。あなたの霊的な「命綱」は何ですか。

Q. どんな時にも希望を失わず、忍耐をもって生きる力はどこから来るのでしょうか？

4

みことばの解説

外出自粛の日々の中で、「自宅で今できる5つのこと」を礼拝でお話ししました(4月19日 YouTube)。

(1)心を静める黙想の時をもつ

(2)人生を振り返ってみる

(3)心にあるものをアウトプットする

(4)大切な人と有意義な時間を過ごす

(5)良いものに触れる

もう一度日々の生活と照らし合わせてみてください。いかがでしょうか。中でも(1)心を静める…はとても大切です。マルコ1章でイエス様はすでに多くの働きを始めておられました。多くの人と関わり、病をいやし、霊的な戦いもありましたが、イエス様は「やること(Doing)」に忙殺されませんでした。その理由が35節、イエス様は「朝早く」「寂しいところで」(つまり独りで)祈っておられたのです。

カトリックの司祭として多くの霊的書物を書いたヘンリ・ナウエン師は、こう書いています。

「キリスト者として生きるということは、この世に属さずに、この世に生きることです。こうした内なる自由は、独り静まる中に生まれます。イエスは祈るために寂しい所に出てゆかれました。それは、自分の持つ力はすべて与えられたものであること、自分が語る言葉もすべて父からのものであること、自分がする業はすべて、自分ではなく、自分を遣わされた方の働きであることを、さらに深く自覚するためでした。」(静まりから生まれるもの)

詩篇42篇でも歌われているように、厳しい現実の生活や世界的パンデミックで、「うなだれ・思い乱れる」ような時には、静まって「神を待ち望む」ことです。そこで、あなたの「Being」が肯定され、主の愛と励ましに包まれる時に、「すべてを忍耐し、希望をもって、すべてを信じる」生き方ができるようになると確信します。Stay In His Love and His Word!!